

維持管理計画書

(変更後)

真桑井水土地改良区

第一章 地域及び地積

本地区は、岐阜市西方約 9 km 一級河川根尾川を挟み、東は旧糸貫川を隔て本巣郡北方町に接し、西は同じ根尾川を隔て揖斐郡大野町の一部を含み、北は糸貫・根尾両川の合流点に至り、南は本巣市下真桑を含む東西 2 km、南北 7 km に達する広大な地域にして地区内地目別地積は次のとおりである。

令和 7 年度賦課台帳参照 単位：ha

市町名	田	畑	計	備考
本巣市	354	108	462	
大野町	200	33	233	

第二章 地域の状況

第一節 地形

本地区は、一級河川根尾川を挟み糸貫川の西に位する東西 5 km、南北 9 km に達する正形の地形で北より南に向かって約 1/1,000 内外傾斜している。標高は、南方本巣市下真桑地内にて 22 m 内外、北方石神地内にて 28 m 内外、西方揖斐郡大野町地内にて 30 m 内外に位し一般に平坦である。地区内水田は米、麦等の栽培に適し、畑は蔬菜、果樹（富有柿）の栽培が盛んである。

第二節 気象

当地域は、一般に春夏は東南の風向きで秋冬は北西の季節風が多い。夏期は平均気温 28℃、冬季は 5℃ で比較的温暖な気候であり農作物に適した気象である。

岐阜地方気象台 1991 年～2020 年の期間参照

一般気象

単位：℃、mm

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
平均気温	4.6	5.4	9.0	14.5	19.4	23.2	27.0	28.3	24.5	18.7	12.5	7.0
平均降水量	65.9	77.5	132.4	162.4	192.6	223.7	270.9	169.5	242.7	161.6	87.1	74.5
平均気温	年平均 16.2℃											
平均降水量	年降水量 1,860.7mm											

岐阜地方気象台 1883 年～2019 年の期間参照

特殊気象

単位：mm

	第 1 位		第 2 位		第 3 位		第 4 位		第 5 位	
	数量	年月日	数量	年月日	数量	年月日	数量	年月日	数量	年月日
最大日雨量	260	1961/6/26	257	1896/7/20	243	1974/7/25	242	1896/9/7	219	1977/8/17
最大連続雨量	848	1976/9/14	699	1961/7/6	424	1993/7/5	413	1970/6/10	410	1985/6/27
最大旱天日数	44	1986/2/24	41	1973/12/31	39	1997/11/12	38	1999/12/31	34	1998/12/4

第三節 水利状況

(一) 用水系統

(1) 水源

本地区水源は、一級河川根尾川左岸より山口頭首工により取水し地内に設置された分水工により、取入水量は最大 5.31 m³ である。

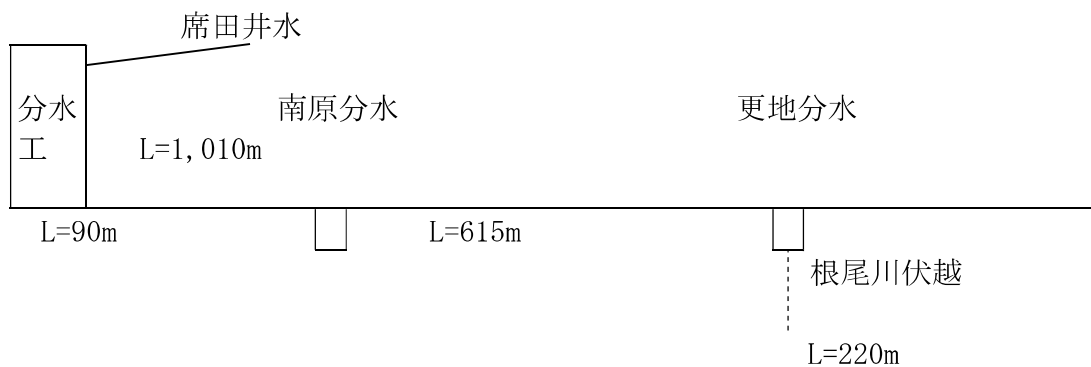
(2) 水路

本土地改良区の維持管理すべき水路は、建設省施工の幹線水路延長 1,715 m 及び根尾川伏越サイフォンであり、幹線水路の幅員は上流より南原分

水まで90mは12.4m、根尾川伏せ越しサイフォン更地分水口までの615mは幅員10.0m、真桑方井水土地改良区管理始点までの1,010mは6.0mの幅員にて空石積護岸の水路である。

分水樋門より下流90mの地点に設けた南原井水分水工は、鉄筋コンクリート造りで5門にて、内2.3m4門は真桑井水に、1.8m1門は南原井水とする。又、分水樋門より下流705mの地点に更地分水工を設け根尾川を伏越して右岸耕地のかんがいに供する3門は真桑用水とする。根尾川伏越しは、内法高1.3m、幅2.2mの鉄筋コンクリート暗渠で延長220mである。

内務省施工分水工



(3) 用水過不足の状況

用水源である一級河川根尾川の流域森林は良好とはいえず、山口頭首工渇水時に至ればかんがいを行うのは不可能であるから慣習により番水制をもって応急処置を講じている。

(二) 排水系統

本改良区は、地形北より南に向かって1/1,000内外の勾配を有し、根尾川は自然の排水幹線を形成し、地区下水流には犀川、五六川等小河川あり、これによって長良川に排水されまた、地区内はほ場整備が実施され湛水の被害はなく特に記載すべき事項なし。

第四節 耕地面積

(一) 町村別田畑別平均一戸当り耕作面積

農林水産統計年報参照

市 町 名	一戸当たり耕作面積 (ha)			摘 要
	田	畑	計	
本巢市	0.57	0.24	0.81	
揖斐郡大野町	0.73	0.23	0.96	

第三章 維持管理計画

第一節 目的

一級河川根尾川より山口分水工を経てかんがい用水を導入し農業生産の維持増進に寄与するものである。

第二節 かんがい施設関係

(1)かんがい施設の種類及び維持管理の方法

(イ) 取水樋門 本巢市山口地内に設置された根尾川堰堤に接続し、その上流 20m 根尾川左岸に開口し鉄筋コンクリート造り幅 3.0m、高 1.2m 6 連とし巻上式スライドゲートにより水量の調節を行う。

(ロ) 貯水池（配水地） 取水樋門に連絡し、長 76.0m 最大幅 70m 扇型の貯水池を設け流入土砂を沈殿し、玉石コンクリートとし周壁は高 2.3m である。

(ハ) 貯水池排水工 貯水池左岸末端に高中各 30cm の排水口を有する長 23.5m の排水暗渠を埋設し、沈殿土砂浚時の残水排除を行う。

(ニ) 分水樋門 本巢市山口地内

鉄筋コンクリート造巻上樋門、高 1.1m 幅 2.5m 鋼製スライドゲート 6 連で電動式 2 門、手動式 4 門にて調整する。

(ホ) 幹線水路、分水、伏越

前述のように、幹線水路は、護岸空石積水路で延長 1,715m の内上流 90m の間は幅員 12.4m、中間 615m の間は 10.0m、下流 1,010m の間は 6.0m である。南原分水は鉄筋コンクリート造にて分水（南原井水）し、鋼製スライドゲート 1.8m 1 門、本線 2.3m 4 門、更地分水は、鉄筋コンクリート造にて更地井水 2.5m 2 門、真桑井水 2.5m 3 門にて調整する。

根尾川伏越（更地井水）は高 1.3m 幅 2.2m 鉄筋コンクリート暗渠である。

(2)配水の時期及びその方法

(イ) 取入口に於ける取水時期及び幹線水路分水施設毎の配水時期

取入口 4月16日（4月1日～15日は水止期間）

分水 4月16日

(ロ) 幹線水路の分水施設毎の用水配分方法

各々規定の分水口は自然流入とする。但し分水ゲートが設置されている分水施設は渇水期にゲートにより分水量の調整を行う。

(ハ) 取入口及び幹線水路の分水施設毎の用水量とかんがい面積

名 称	用水量	地 積	名 称	用水量	地 積	摘要
取入口	(最大)	767.4ha	南原井水	0.226m ³	27.8ha	
	5.31m ³		真桑井水	5.078m ³	739.6ha	
			更地井水	1.684m ³	242.6ha	

(3)かんばつの場合の処置

本土地改良区は、同一取入口により席田井水土地改良区との協定により、渇水時に至れば番水制度を行うものにして従来より厳重なる時間制度を守り正確に行われている。

(4)他の農業水利団体との関係

前述の如く、席田井水土地改良区と共同の頭首工により取水樋門、貯水池、配水

設備等は、席田井水土地改良区と維持管理を共同に行い、番水時の用水使用方法と共に密接な関係を有し双方の取り定めにより円滑に経営されている。

(5)制裁規定

なし

第三節 排水施設関係

本土地改良区は現況記載のとおり、排水施設として特記すべき事項なし。

第四節 農業用道路その他農地保全、又は利用上必要な施設関係

該当事項なし

第五節 他事業との関係

該当事項なし

第四章 環境との調和への配慮

農地として耕作することで自然環境を保全するため、本巢市、揖斐郡大野町及び多面的機能支払い交付金活動組織等との連携した活動に取り組むことで、緑豊かな地域環境保全を目指すとともに、生態系の保全に努め自然環境の維持に取り組む。

第五章 維持管理事業費

(1) 1事業年度に要する経常的経費の概算額 4,075千円

(平成27年度～令和6年度の平均額)

(2) 施設の耐用年数期間中に必要となる整備補修費の予定総額及びその1事業年度当たりの平均額

2026～2065（40年間） 施設更新費用 (単位：千円)

年 度	事 業 名	事 業 内 容	事 業 費	負 担 金
2026～2029	農業水利施設保全 合理化事業	更地方分木工除塵機新 設ほか	178, 327	10, 700
2027	維持管理適正化事業	余水吐き土砂除去	16, 873	6, 749
2030～2034	農業水利施設保全 合理化事業	真桑幹線水路補修、ゲート 類塗装	276, 916	16, 615
2035～2044	農業水利施設保全 合理化事業	真桑幹線水路補修、根尾川 サイフォン補修	103, 774	6, 226
2038	維持管理適正化事業	余水吐き土砂除去	20, 780	8, 312
2050～2054	農業水利施設保全 合理化事業	真桑幹線水路補修、ゲート 類塗装	102, 529	6, 152
2055～2064	農業水利施設保全 合理化事業	真桑幹線水路補修	882, 751	52, 965
合計			1, 581, 950	107, 719
1事業年度当 たりの平均額			39, 549	2, 693

第六章 効用

各施設を効率且つ適正に管理することにより、安定した農業生産並びに農作業効率の向上を図る。

平成25年度新規採択 真桑用水二期地区事業計画書参照

総費用総便益比 $2,958,763/408,238=7.24 > 1.0$

総費用総便益比 = 総便益額（現在価値化） ÷ 総費用（現在価値化）

総所得償還率 $2,553/317,185 * 100 = 0.9 < 20\%$

総所得償還率 = 年償還額 ÷ 現況年総農業所得額 × 100

第七章 一般平面図

別紙として添付

真桑井水土地改良区計画平面図

